

取組みのカテゴリ

企業情報

安全パトロール

労働安全教育

所在地：東京都
従業員：3,907名

背景

1 0数年前、多くの労働災害が発生したことから、労働安全衛生の改善活動を強化するため、労働局長を経験した方に顧問に就任していただき、製造現場のパトロール、工場幹部や従業員の意識改革を実施することといたしました。
また、代表取締役会長からのトップメッセージ「労働安全衛生標語『愛』」を発信し、労働安全衛生に対する取組みの一層の浸透・強化を図りました。

取組内容

1. 【安全で効率的な美しい職場にするためのパトロールの実施】

- 各事業所で顧問による労働安全衛生の講義を実施し、工場幹部や従業員の安全衛生に対する意識向上と活動のポイントの理解を深めました。機械災害の撲滅の他、特に5Sについての点検を強化し、モノの置き場、置き方の指導や事故の原因となるような危険源の除去・対策につなげています。
- 5S指導例：「洗い場の床は濡れるのが当たり前で、どう掃除するかを考える」のではなく、「そもそも濡らさないためにどうするかを考える」→シンクを深くするなどの工夫。



2. 【安全意識レベルを把握するための調査】

- 労働安全衛生に関する意識の現状把握を目的として従業員の安全意識調査を実施し、年齢、勤続年数、雇用区分、部署による傾向の把握と問題点の抽出に努めました。また、意識調査と同時に、部署内の不安全行動の実態も調査しました。その結果、勤続年数の浅い方だけでなく、役職者やベテラン社員にも不安全行動が見られることが分かり、役職者やベテラン社員に対して安全最優先であること、自身が模範となる行動を取ることを指導しました。安全衛生への意識レベル、傾向を把握することで、対象、ポイントを絞った適切な教育が実施できています。



安全の成果

- 各種の取組みの結果、労働災害は大幅に減少しています。特に、機械災害の撲滅に向け、安全パトロールで把握した不安全箇所の改善を実施したこと、従業員への安全最優先とする教育の実施等の効果もあり、機械災害が減少、また、現場の5 Sを推進したことで転倒災害が減少しました。また、他工場での好事例や不安全箇所の水平展開により、会社全体として安全で快適な職場づくりにつながられています。

副次的効果

- 安全パトロール時に5 Sの状況を確認することで、モノの置き場や置き方が標準化されるようになり、職場の整理整頓が進みました。その結果、職場の安全性が向上するとともに、作業のムダがなくなり、生産性の向上にもつながっています。

取材年月：2020年11月

* 上記取組みは、当該企業の労働安全の取組みの一部です。